

ASO 田園空間博物館は8 / 3 NPO 法人（特定非営利団体）になりました。



「NPO 法人化について」

NPO 法人 ASO 田園空間博物館
理事長 西岡 ヤス子

ASO 田園空間博物館はこの1年間、会員の皆様とともに試行錯誤しながら取り組み、8月3日にNPO 法人として認証されました。これも一重に行政、会員、地域住民の皆様のご支援、ご協力の賜物だと思います。感謝申し上げます。

これからは、NPO 法人 ASO 田園空間博物館として歩き出します。NPO 法人として設立したことを自覚し、環境と調和のとれた地域の新しい未来を創造する活動に取り組んでいきます。地域の価値を再発見、発掘していく中で、阿蘇を訪れる人々にも取り組みに参加していただけるような仕組みづくりや、阿蘇の地域資源（サテライト）を活用した情報発信を行い、都市と農村の交流、環境保全、地域振興に繋げてまいりたいと思っております。

阿蘇の奥深さを、無理せず、楽しみながら地域内外の皆様へ伝えていきたいと思えます。

これまでASO 田園空間博物館にご支援いただきました方々に感謝し、今後も活動をしてみたいと思います。どうぞご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

＜平成18年度事業方針＞

阿蘇市を14地区に分け、サテライト（地域資源）を中心としたコース作りを進め、それを通じて地域人材 地域団体との協力を促進する。情報発信基地として総合案内所の活用を図る。また、会員100人による「おもてなし観光対応」ができる場としても活用していく。

＜組織図及び運営体制＞

総 会
| 事 会
理 事 長
| 運 委
営 員 会
| 事 務 局

総合案内所事務
(会員の管理、庶務、経理、窓口ボランティア管理など)
会員活動事務
(委員会検討事項の管理、執行、総合調整事務など)

サテライト 委員会 企画委員会 物販推進委員会 広報委員会 組織委員会

＜理事名＞ 西岡ヤス子、小笠原徹朗、中村道則、小野美子、坂元英俊、山内康二、山部今朝範、古澤新一、轟林住友、市原新、小野勇

＜監事名＞ 赤星永幸、西村清光



事務局長就任のご挨拶

小嶋龍也

この度、NPO 法人 ASO 田園空間博物館の事務局でお世話になります小嶋龍也です。

出身は旧阿蘇町湯浦。阿蘇高校、熊本商科大を経て、27年間住宅資材関係の営業をしてきました。当博物館は市民の皆様良くご存知のように、地域に残された史跡、景観、伝統芸能等を展示物に見立てた屋根の無い博物館です。私は企業の経験しかなくNPO 活動も多少携わった程度ですが、阿蘇に生まれ、阿蘇に育ち、一時外部から阿蘇を見た者としての感覚を活かしたいと思えます。微力ではございますが、田園空間博物館事業を通じて阿蘇市の活性化に少しでも役に立てる事を楽しみに頑張りますので宜しくお願い致します。

企画委員会

田園空間博物館の企画委員会に所属して、早2年、企画委員会は田園空間博物館においての事業等の計画、立案をする委員会であり、また他の委員会に対して協力等も行っています。企画委員会といえば硬そうに見えますが、企画委員会のモットウは「遊び心」。何をやるにも遊び心である。したくないとか、苦痛だとかでは、よい計画、立案は生まれてこない。それはどの委員会に所属していても同じ。

企画委員会の会議では、遊び心がゆえに笑いがたえません。NPO法人においては、会員が増えなければならない。みなさんも気軽に田園空間博物館に足を運んでみてはいかがですか。遊び心で。遊び心がみなさんの町の博物館の観光にも役立つと思います。気軽に、気軽に。

委員 赤星 永幸



◀こども夏祭りなどを開催

組織委員会

- ・阿蘇を良く知るための市民講座「阿蘇セミナー」をつくるのが出来ます！
 - ・田園空間博物館のPRと新しい会員の拡大に参加出来ます！
 - ・地域の特徴を出して受け入れ対応出来る「案内人」づくりに参加出来ます！
- 「組織委員会」は、こんなことを目標にして、少数精鋭で取り組みを進めています。

いわば、田空のセールスマンといたるところでしょうか！？大変そうに見えるでしょうけど、実はトテモ楽しいんですよ！「こんなことが出来たら楽しいだろうなあ！」ということを大切に、アイデアを出し合い、動ける時間をつかって形にしていく…そんな委員会だからです。いつでも「扉」はあいています。いっしょに田園空間をつくっていきましょう！

委員長 諸岡 哲夫



◀企画した祝賀会で各委員長紹介

問合せ先

A S O 田園空間博物館総合案内所 (J R 阿蘇駅前) Tel: 35-5077 / まちづくり商工観光課 Tel: 22-3174
A S O 田園空間博物館ホームページアドレス <http://www.aso-denku.jp/> e-mail: aso-den@aso.ne.jp/

サテライト委員会

皆さんの身近にある「阿蘇の宝」をサテライトとして認定・登録を行い、そのサテライトをもっと光らせるための地域の取り組みを応援する委員会です。現在まで、サテライトを使ったイベントを企画・実行してきました。昨年暮れには阿蘇市の11校の小学校を対象に「伝えていきたい阿蘇の宝」をテーマにカルタを作ってもらい500通の応募の中から「サテライトカルタ」を作成しました。また、地域にも足を運びサテライトの勉強会や新しいサテライトの発掘なども行っています。阿蘇市はかなり広範囲なので、これから少しずつ活動の輪を広げていきたいと思っています。

皆さん自分の地元をもっとPRしてみませんか？今日からでもその活動をサテライト委員会で始められます。会員さんたちは皆自分の仕事の合間にボランティアで活動しています。よかったです皆さんもこの活動に参加してみませんか？

委員長 阿部寛樹



◀「二百十日」執筆百周年のため夏目漱石ゆかりの地を取材

広報委員会

本業はお菓子屋で日頃は甘いものを作っていますが、田空では広報を担当しております。少しはパソコンを使えると言うものの、広報に関する知識が全くないまま委員長を引き受けて不安でしたが、周りには文章を作るのが上手い人、パソコンに詳しい人、絵が描ける人、デザインが得意な人、写真を撮るのが上手い人などが集まってみんなで広報委員会を盛り上げてくれています。

主な活動内容は会員通信「あか牛のあくび」の発行、ホームページの管理、広報誌の原案作成、イベントのチラシ作成、ガイドブックの作成、イベント等の記録（カメラ撮影）などです。毎月第2、第4木曜にワイワイやっています。興味のある方は、ぜひ遊びに来てください。ワードのスキルは確実に上がりますよ！

委員長 中村 浩



◀サテライトのガイドブックを作成

物販推進委員会

現在総合案内所におきまして「田空あおぞら市2006」を開催中です。その中に生産者がいて、つくった者の顔が見える状態で商品をお客様に買っていただいています。そこでの「橋渡し」が物販推進委員会の役目です。

私たちは、昼夜どうやれば商品がよく売れるのかを考えがんでいます。大事なことは、生産者の商品に対する想いです。私はお客さんにお叱りを受けることがあります。主軸をお客様でなく生産者にあえて置き、商品に対する自信を持っていただき、良いものを良い価格にもっていきたいと思います。いずれその商品のメジャーブランド化、生産所得向上が当面の目標です。

委員長 中山 達也



◀会員さんの畑で茶つみ手もみ体験



私たちがいっしょに活動しませんか？

A S O 田園空間博物館事業の趣旨に賛同し会員になられた方は、現在約100人。その会員のうち多くの人たちが、5つの委員会にそれぞれ入り活動しています。この田園空間博物館事業は何より「人」が創り出すもの。やる気のある人材なくして、未来に阿蘇の景観を残せません。ただ今、A S O 田園空間博物館では、会員を募集しています。各委員会の取り組みをご覧になって「参加してみよう」と思われる方は、ぜひ、お問い合わせください。